

北九州リハビリ報告

第3号

発行日 平成18年10月1日

末吉市政20年の総決算 平成17年度決算議会

ハイライト:

- 中村よしお9月議会にて一般質問を行いました
- 北九州市の財政状況
- もう、橋や箱物はいらない！！
- ハートフル！
北橋健治氏と市民が主役の市政を実現しよう！！

9月27日、約一ヶ月間の平成17年度決算議会が終わりました。末吉市長が退任表明をした中での議会であったためか、特に大きな話題はありませんでした。



今議会では今年度2回目の本会議質問を行い、街興し、安心・安全、中学校給食、障害者対策につ

いての質問を行いました。

また、決算特別委員会では1年生議員初の主査を務めさせていただきました。主査の役割は私が所属する第2分科会（保健福祉・教育等担当）のとりまとめをするポストです。初めは緊張しましたが、何とか無事にこなすことが出来ました。



「進行性化骨筋炎」の難病指定を求める意見書提出（可決）

「進行性化骨筋炎」とは筋肉が骨に変化し、だんだん身体が動かなくなっていく病気です。

先日、子どもがこの難病に苦しんでいるお母さんから相談がありました。明らかに難病であるにもかかわらず、難病指定がされず、治療法の研究さえ、され

ていないため、国に対して意見書を上げて欲しいというご要望です。今議会で中村よしおが提出、可決されました。

中村よしおが提出し、可決された意見書は、「脳脊髄液減少症」「介護保険における福祉用具」に続いて3つ目になります。

本会議一般質問内容

今回の本会議では①「小倉北区のビズターズインダストリー策について」②「市職員の地域活動の参加について」③「小倉南消防署葛原出張所の救急車導入について」④「中学校給食について」⑤「障害者施策について」等の質問を行いました。



「小倉北区のビズターズインダストリー策について」では小倉北区の観光資源であるお盆に行われる「小文字焼き」のPRや足立山麓の観光化、街中の歩行者天国等の提案を行いました。「市職員の地域活動の参加について」では、1,000人以上の北九州市に住んでない職員への本市への移住、職員の自治会や消防団等地域活動の促進を訴えました。「小倉南消防署葛原出張所の救急車導入について」では21万人の小倉南区に救急車は3台しかないため(26万人の八幡西区5台)、増やすよう質問しました。

中学校給食「反対理由なし、ただやりたくないだけの本市」



本市は今まで以下の2点を理由に中学校給食を否定してきました。1点目は初期投資に80億円かかるという財政的問題、2点目は中学生になると嗜好がはっきりしてくるため、食べ残しが多くなるという問題。

今回はこの2点をクリアする提案を行いました。その提案は**選択制親子方式**です。市が持っている80億円は各中学校に給食室を作るものですが、調理は近くの小学校で行いそれを中学校に運ぶ親子方式では配

膳室の設備だけで済み、空き教室を利用している長崎市では1校当たり(400人分)600万円で実施できています。これを北九州市に換算すると4億円で出来ることとなります。また、選択制にすることで、給食が苦手な子どもは弁当を持参することが出来るため食べ残しも少なくなるはずです。

しかし、市の答弁は「教育委員会で決めているから」「4億円で出来るはずがない」と調べてもいないのに、いい加減な発言が繰り返されました。

福祉後進都市北九州市

障害者施策については①障害者自立支援法の影響と今後の見込み②サービスの質の低下を防ぐための施策③障害者の人権を保障する条例設置について質問しました。答弁は相変わらず「今後の動向を見守りながら対処していく」という全く当事者の気持ちが理解できていない答弁でした。この答弁に対し、私が今までお聞きした当事者

や保護者の方々の気持ちや怒りを代弁しましたが、今の執行部には全く響いていないようでした。この日は聴覚障害、知的障害、肢体不自由等、たくさんの方々が傍聴に見えていただきましたが、皆さん怒りに震えながらお帰りになっていました。

やはり、ソフト中心の市長に変えない限り、北九州市の福祉は充実しません！！



北九州市の財政状況

平成17年度総決算額は1兆1,820億円です。内訳は、市税や地方交付金等を中心とした一般会計5,196億円、介護保険や国民健康保険等の特別会計5,408億円、市立病院や上下水道等の企業会計1,216億円となっています。

市の借金に当たる市債残高は一般会計約9,000億円、特別会計約1700億円、企業会計約3,200億円で総額1兆3,900億円になります。市債残額(借金残額)が年間の決算額を上回っており、非常に厳しい状況です。

一般会計市債残額で比較してみると、平成8年度市債残額は4,427億円が10年で2倍以上の9,000億円に膨らんでいます。これは、ここ10年間の箱物行政の「つけ」といえるのではないのでしょうか？



ひびきコンテナターミナル

借金700億円

北九州市の財政立て直し策は？

平成17年度の公債(借金)返済年額は647億円です。平成21年は公債返済年額のピークを迎え800億円を超える返済が必要となります。現状のままでは返済困難になるため市は「北九州市経営基本計画」を策定しています。

この計画によると平成19年から3年間、毎年100億円を削減し、基金を取り崩しながら何とか堪え忍んでいくというものです。基金とは市の貯金に当たるものですが、平成14年度には525億円あった基金残高が、平成21年には5億

円になります。この見込み以上の支出があれば、北九州市は繰り上げ充用(次の年の予算からお金を借りて運営すること)をしないと破綻してしまうというまさに自転車操業状態になってしまいます。

コムシティー



30億円債権放棄間近!

大ピンチ箱物行政

昨年オープンしたひびきコンテナターミナル。第1期総工費1,000億円、その内北九州市が700億円負担することになっています。25万TEU(1TEU=25フィートコンテナ1個)が採算コンテナ取扱量で開港1年目の目標を10万TEUと定めていましたが、蓋を開けてみると6,000TEUにも満たない取扱量でした。このままではいつつぶれてもおかしくない状況です。

他にもコムシティーに貸している約35億円のうち、30億円分の事実上の債権放棄が求められており、300億円かけたメディアドームの失敗、270億円帳消しにしたモルルール、大失敗のAIMなど、大型箱物行政の結果が次々と露呈しています。

300億円無駄に?!



北九州市議会議員 中村よしお

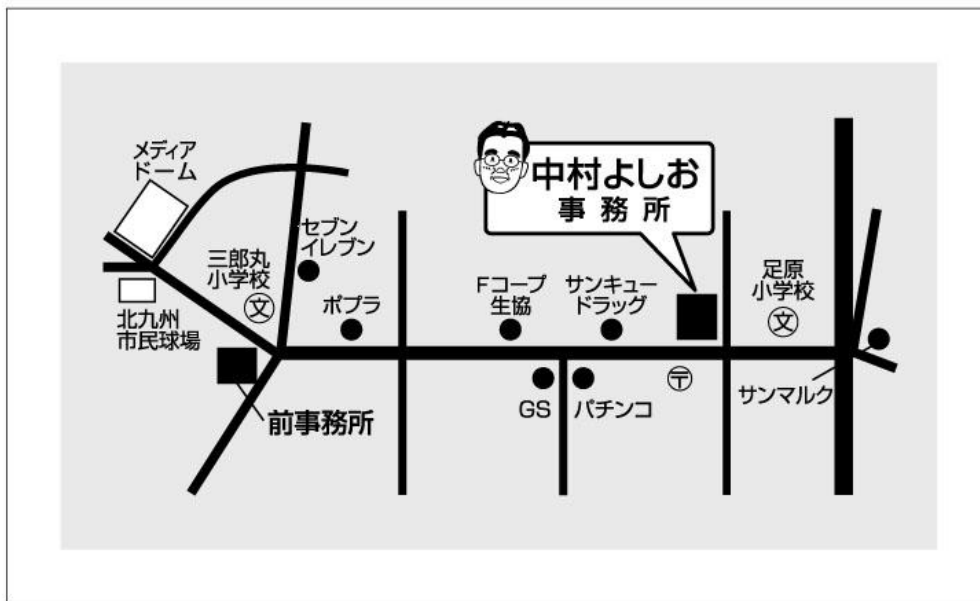
北九州市小倉北区足原2丁目1-39

電話 093(932)8533

FAX 093(922)8277

Email: nakamura-y3226@nifty.com

ぜひ、事務所にお立ち寄り下さい！！



中村よしおプロフィール

- 昭和39年5月12日生まれ 42歳
- 福岡県立小倉南高校、国立療養所福岡東病院附属リハビリテーション学院卒
- 作業療法士として病院で勤務した7年間、なぜ行政は現場のことを理解していないのかと嘆き、市役所に入りました。市役所勤務10年間、一職員として現場のことを上に上げて「伝わらない」、「変わらない」、現場の人間が議員になって現場の声を伝える必要がある！と決意し、市役所を辞め、市議会議員選挙に挑戦しました。皆さんの応援のお陰で初挑戦初当選！これからも初心を忘れずに頑張ります！！
- 作業療法士（昭和61年免許取得）
- 自民市民クラブ政調会長
厚生消防委員会委員（保健福祉局、病院局、消防局担当）
環境首都づくり及び高齢社会対策特別委員会委員

北九州市議会議員
中村 よしお

